



桐

K

I

R

I

目黒学院高等学校同窓会事務局

〒153-8631 東京都目黒区中目黒1-1-50

電話 03-3711-6556

編集発行人 会長職務代行 市川 康 憲

URL <http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>

平成30年度同窓会 総会および懇親会のご案内

本年度の総会・懇親会を、3年ぶりに右記の通り開催いたします。本年も、これまで同様にご出席いただいた会員の皆様にご満足いただけるよう、楽しい懇親会を開催すべく、役員一同で万全の準備をいたしております。

会員の皆様におかれましては、クラスメイト、先輩、後輩へと共々に幅広くお声を掛け合って、多数のご参加をお待ちしております。

なお、当日はご同伴でのご出席も大歓迎いたします。多数の会員皆様のご出席を、心からお待ち申し上げます。



記

- 日 時 平成30年7月28日（土）午後6時から
- 場 所 新宿ワシントンホテルビル内宴会場
「ウエストシティホール&ウエディングアイ」
本館2階「クローバー」
(新宿駅南口改札口より都庁方面 徒歩8分)
- 電 話 03-3349-0011
- 交通アクセス
J R 新宿駅南口下車、小田急線・京王線・都営新宿線
(京王新線)・東京メトロ丸の内線新宿駅下車、
都営大江戸線都庁前駅下車
- 会 費 平成27年3月～30年3月卒 1,000円
平成26年3月卒以前 3,000円
※同伴出席者の会費は、本人会費の半額とさせていただきます。
- 内 容 着席スタイルのパーティ形式
アトラクション（コント）
表彰（親子二代卒業生）
抽選会（景品を多数用意）



※総会・懇親会への出席連絡は、同封の葉書をご利用ください。また、葉書投函後にご都合が悪くなった場合には、同窓会ホームページの「お問い合わせ・ご意見フォーム」からご連絡ください。
URL <http://www.meguro.ac.jp/Kiri/>

なお、住所等の変更もなく欠席の方は葉書を投函しないでください。

平成29年度会務報告



同窓会会長職務代行

いち かわ やす のり
市 川 康 憲

(昭和42年 3月卒)

若葉に風薫る今日この頃、目黒学院高校同窓会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。加えて、同窓会に対する様々なご支援、ご協力に対しましても厚く御礼を申し上げます。

ご承知のように、本年は3年に1度の「同窓会総会及び懇親会」が開催される特別な年です。母校の発展を更に力強く支えられる同窓会を構築すべく、役員一同努力をしてまいりますので同窓生の積極的な同窓会活動への参加を切にお願いするしだいです。

初めに、この一年間の同窓会活動についてご報告をさせていただきます。ご承知のように、私は一昨年から会長職務代行を仰せつかり、パソコンに向かって会務報告を書くのは2回目となりました。昨年の会務報告は、同窓会活動に携わる中での感想や課題を中心に書かせていただきました。いわゆる同窓会という組織体は、同窓生お一人お一人の自主的な意思によって役員会が構成され、同窓会活動が推進されております。従って母校を支え、在校生をサポートする意味においては、同窓会活動の充実は不可欠であり、一人でも多くの同窓生の参画をお願いして参りました。幸いにして、新たなメンバーの協力を得ることも出来ましたし、今年社会人となられた卒業生からも、継続して同窓会活動への協力を頂けることになりました。心から感謝を申し上げますと共に、一人でも多くの同窓生が、私たちと共に同窓会活動にご参加いただき、母校の発展にお力添えを頂けますよう重ねてお願い申し上げます。

今年はピョンチャン・オリンピックが開催されましたが、我が国のメダル獲得数は1998年の長野五輪で獲得した10個を超える13と冬季五輪史上最多となりました。続くパラリンピックでも、目標であった7つのメダル獲得数を超え、前回のソチ大会を超える10個のメダルを獲得するという華々しい成果で閉会いたしました。翻って本校目黒学院各部・同好会におきましても、近年の活躍には目を見張るものがあります。平成28年末、第35回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会へ東京都代表として全国大会に出場しました。さらには、我が校の伝統あるラグビーフットボール部が昨年末、第97回全国高校ラグビーフットボール大会都予選で38対7の大差をつけ早稲田実業

に勝利し、4年ぶり18度目の花園ラグビー場での全国大会出場を果たしました。最終的には、全国の頂点に立つことはできませんでしたが、「雨垂れ岩をも貫く」という喩のようにいつの日か地道な努力が結実する事を確信しております。同窓生の皆様には、物心共に多大なるご支援ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

その他、ご紹介しきれませんが各部、各同好会の活躍が報告されております。私たちは、こうした後輩たちの活躍に対して様々な角度からサポートしなければならない場面が多々出てくると思います。こうした支援は、母校の発展に直結しているという意味で、今後とも可能なご協力を賜りたくお願いを申し上げます。

次に報告に入りますが、卒業式と入学式に出席させていただきました。中でも、卒業式後に開催されたPTA主催の「謝恩会」並びに中学・高校の6年間を終えられた「卒業を祝う会」へ、同窓会から私と平井副会長が同窓会を代表して出席させていただき、お祝いの言葉を述べさせていただきました。この式典の中で関口校長先生が卒業生に対して「目黒学院校歌」の歌詞に触れられました。1番の「仰げ大空眉を上げて 胸に沸く血潮の音きかずや・・・」、2番「友よ手を取りいざや行かん 行手なお遙かに道は険し・・・」。恥ずかしながら、卒業後50年経って初めて校歌の奥深さに感動を致しました。改めて、青年の気概で頑張ろう、と決意をした瞬間でした。

本会への新会員は、去る3月10日の第70回卒業証書授与式が終了し、新たに268名が会員となられ会員総数では31,819名となりました。同窓会としては、卒業記念としてお一人お一人に思い出の写真が入られる「電波時計付きフォトスタンド」を昨年同様贈らせていただきました。

お知らせ及びお願いが2点ございます。1点目は、本年は同窓会総会・懇親会を開催する年であります。詳細は別記させていただきますが、同じクラスの友人、同じ部活や同好会の仲間と連携を取り合って、お一人でも多くの同窓生を結集して盛大な総会・懇親会を開催したいと思っております。

2点目は、昭和30年卒の矢川福太郎さんが平成30年2月13日81歳のご生涯を閉じられました。矢川さんは、平成2年（1990年）から現在までの28年間、同窓会副会長として積極的に同窓会活動を牽引してくださいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

おわりに、今後も一層の同窓会活動に対するご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、会員各位、在校生並びに理事長・校長先生を初め教職員の皆様方の益々のご健康と、母校の発展をお祈り申し上げ、挨拶並びに会務報告といたします。

ご挨拶と学校の動向



理事長・校長

せき ぐち たか し
関 口 隆 司

男女共学7年目となりました平成29年度は、おかげさまで大過なくほぼすべての行事をとり行うことができました。今後も「明朗・勤勉・礼節」の校訓のもと、教育内容の充実に邁進する所存です。

本年4月の新入生は、中学生10名、高校生261名（一貫コース内部進学生を含む）となりました。中学生の新入生のうち女子は2名で、高校生の新入生のうち女子は94名となり、高校1年生は8学級中7学級が共学クラスです。何卒、卒業生の皆様におかれましては、引き続き「新生・目黒学院」へのご支援とご協力を賜りたいと念願しております。

以下簡単ですが学園概況のご報告を申し上げます。

1. 学校行事等

前述の通り、平成29年度の目黒学院では、ほぼすべての行事を予定通り実施することができました。唯一中学3年生が参加するアメリカ研修旅行（USセミナーツアー）が、参加希望者が最少催行人数を下回ったため中止となりました。USセミナーツアーは平成30年度は2つの学年をあわせて行う予定です。一方、体育祭・陸上記録会や梧林祭もまずまずの天候となり、昨年同様生徒は活発に活動しておりました。例年通り中目黒駅前商店街主催の「鳴子よさこい祭り」にも参加して好評を得、駒沢の体育館を借用して球技大会も実施することができました。

また、相互交流の協定を締結している福島県飯舘村の役場を11月に訪問し、菅野村長に対して義援金を手交いたしました。

2. 教職員の異動

専任教諭の上関宜克先生、上関康子先生が定年退職されました。上関宜克先生は引き続き中学校技術科の非常勤講師として教鞭をおとりいただいております。

また、事務の佐藤公俊先生が退職され、専任講師の松本祥子先生、非常勤講師の岡安勇先生が期間満了により退任されました。

一方、友寄景滋先生（数学、情報）、五十嵐央先生（学校司書）を新たに常勤講師としてお迎えしました。

現在の専任教員数は68名（専任講師・常勤講師を含む）、

専任職員数は11名（カウンセラーを含む）となっております。

3. 部活動の状況

関東大会以上に出場したのは、ラグビーフットボール部、空手道部、ゴルフ部、ソフトボール部でした。ラグビー部は、4年振りに東京第一地区代表として全国大会に出場し、ベスト16となりました。一方、空手道部は桃太郎杯全国高等学校空手道錬成大会に男女とも団体組手に出場しました。

4. 大学進学状況

本校のホームページに本年度の大学進学実績を掲載しております。生徒の大半が大学進学希望であることは変わらず、志望進路実現のために教職員一同なお一層真剣に取り組んでいく所存です。勉学であれスポーツであれ、真摯にかつ夢中で取り組み、自分自身の考え方にこだわりを持った「有言実行」の生徒を今後も育てていきたいと考えております。

5. その他

平成29年度は、経済的に就学が困難な生徒の保護者に対して学費を免除する規定に基づき、7名に対して授業料の全額免除を行いました。規程に基づき授業料を免除した場合には、同窓会からその一部をご援助いただく予定であります。

本年3月にトンガからの生徒を1名受け入れております。現在トンガ人の生徒は合計3名で、高校2年生が1名、1年生が2名となっております。また、高校3年生にはタイ人が在籍しております。彼らは全員体育コースに進学し、ラグビーフットボール部に所属しております。それ以外にも外国籍を有する生徒が入学、ラグビーフットボール部に入部しており、国際色豊かな同部の2年連続の全国大会出場を切に祈念するものであります（本原稿作成時点で春季大会準決勝に勝利し、決勝戦に臨むところであります）。



第97回全国高等学校 ラグビーフットボール大会報告

目黒学院高等学校
ラグビーフットボール部

たけ うち けい すけ
監督 竹 内 圭 介

みなさまの声援、生徒の努力、スタッフのサポートのおかげで4年ぶり18回目の全国大会に出場することができました。目標としていた「日本一」には手が届きませんでしたが、ベスト16で大会を終了しました。

Bシードで迎えた全国大会でした。2回戦の長崎県代表の長崎南山高校戦では、先制トライを奪いNo.8ハラシリシオネ（3年）が3トライをあげるなど目黒学院ペースで試合を進めることができましたが、後半は相手の反撃にあい、一時は21-20と1点差まで詰め寄られる展開でした。終了間際にFWサイドをPR岩上 龍（2年）が飛び込み26-20と突き放しノーサイド。高校ラグーマン誰もが憧れる聖地花園での1勝は非常に大きく、また花園で年越しをすることができたことに幸せを感じました。



3回戦は優勝候補である大阪府第一代表の大阪桐蔭高校。フィジカル、スキル、セットプレー、BKムーヴなどどれも目黒学院より上回る相手にどこまでやれるかチャレンジでした。後半途中まで0-26と完全に試合を制圧され、そこから3連続トライで15-26としたところで彼等の力が尽きた瞬間でした。結果は15-31と完敗でしたが、花園第一グラウンドにて彼等の勇姿は忘れることができません。そして、この経験を引き継ぎ2018年、2019年、それ以降に活かしていきたいと思います。



ピッチに立った者、立てなかった者、全ての部員がこれからの人生を歩む上できっと良い経験であり、活かしてもらいたいと思います。

何かを成し遂げる「覚悟」を持ち、全ての人や環境に「感謝」し、目黒学院の生徒であったことに「誇り」を持って人生を進んでいってほしいと思います。





目黒学院高等学校
ラグビー部OB会
まつ なが たけ ひと
会長 松 永 武 仁
(平成2年3月卒)

私は、目黒高校でラグビーを始め、大学・社会人とラグビーを続け、現在でも、社会人チームのマネージメントに携わっている関係もあり、昨年度からOB会長を拝命致しました。

目黒学院高等学校ラグビー部OB会は、年間を通して現役選手の支援やOBの友好的活動場所として、更なる躍進を目指して活動しております。

活動内容と致しましては、5月にOB総会を開催し、活動報告・活動案、収支報告などを行っており、7月には目黒学院ラグビーフェスティバルに参加し、OB有志によるバーベキューの提供などを行っております。このフェスティバルには、都内近郊のラグビースクールを招待して中学生大会を開催していますが、参加チームは年々増加し現在では約500人を超える規模となり、参加団体からも大変喜ばれています。



(フェスタでバーベキューの準備をするOB会)

また、9月下旬ごろからは花園での全国大会に向けた予選がスタートする為、各年代のOBへ応援の参加の呼びかけ、一人でも多くOBの方にグラウンドに足を運んで頂き、現役選手に熱い声援をしてもらう事で全国大会出場の後押しが出来ればと考え、記念グッズの作成などにも取り組んでおります。

昨年は、東京都予選を順調に勝ち抜き、決勝では早稲田実業を38-7で下して、4年ぶり18度目の花園出場を果たす事ができました。



(4年ぶり花園優勝を決めた現役選手の皆さん)

花園ではシード校の為、初戦となる2回戦で長崎南山高校と戦い26-20で何とか勝利し、続く3回戦の大阪桐蔭との戦いでは、惜しくも15-31で敗れベスト8に駒を進めることは出来ませんでした。しかしながら、大阪桐蔭がこのまま決勝まで勝ち進み東海大仰星に敗れたものの、全国大会準優勝チームとなったことで、全国トップレベルのチームと互角の戦いを演じたことが、現役選手たちの自信に繋がったものと確信しております。

今後も、ラグビー伝統校のOBとして、現役選手たちの全国大会での活躍に期待しながら、引き続き支援活動を続けていきたいと思っております。



平成29年度決算報告書

平成29年4月 1日から
平成30年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
同 窓 会 費	3,141,900	3,141,900	872名分
入 会 金	692,000	692,000	346名分
賛 助 会 費	500,000	551,000	172名分
総 会 会 費	0	0	
寄 付 金	105,000	105,000	
雑 収 入	51,000		会報掲載広告代及び預金利息
当 期 収 入 合 計	4,489,900	4,603,181	
前 年 度 繰 越 金	6,999,610	6,999,610	
収 入 合 計	11,489,510	11,602,791	

(支出の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
総 会 会 費	0	0	
行 事 費	0	0	
通 信 費	0	0	
雑 費	0	0	
会 議 費	244,000	25,645	
役 員 会 費	189,000	11,795	出席者お茶代
委 員 会 費	35,000	0	
通 信 費	20,000	13,850	開催通知郵便料
補 助 費	380,000	390,000	
部・同好会補助	350,000	360,000	在校生部活動補助
文 化 祭 補 助	30,000	30,000	梧林祭祝い金
事 務 費	425,000	339,128	
人 件 費	300,000	197,000	役員手当他
事務消耗品費	10,000	751	
交 際 費	90,000	121,525	謝礼、慶弔費
雑 費	25,000	19,852	賛助会費振込手数料
会 報 費	1,867,600	1,747,085	
会報『桐』印刷費	259,200	247,104	14,300部
振込用紙及び印刷費	81,000	75,303	
宛名用紙及び印刷費	129,600	120,660	
封筒・封入作業費	226,800	211,664	
発 送 費	1,170,000	1,091,922	郵便料
雑 費	1,000	432	
記 念 品	420,000	393,240	卒業生記念品代268名分
奨 学 金	400,000	400,000	在校生奨学金3名分
予 備 費	100,000	0	
当 期 支 出 合 計	3,836,600	3,295,098	
次 年 度 繰 越 金	7,652,910	8,307,693	
支 出 合 計	11,489,510	11,602,791	

〔特別積立金〕		(単位：円)	
保 管 種 別	本年度末	前年度末	
定 期 預 金	7,000,000	7,000,000	

平成29年度決算報告について

当初予算においては、単年度収支で65万円の収入超過を予定して開始されました。収入は予算に対して11万円増加し、支出は予算に沿って執行しつつ極力経費の節減に努めたことにより、予算に対して54万円の減少となりました。

この結果、単年度収支で130万円の収入超過となり、次年度への繰越金は830万円となりました。

1. 収入の部
- 同窓会費、入会金は予算どおりの収受となり、賛助会費は予算比で5万円の増加、雑収入も6万円の増加となりました。
- この結果、収入合計では、予算に対して約11万円の増加となりました。
2. 支出の部
- 予算計上したすべての経常支出大科目において節減努力した結果、予算対比で54万円の減少となりました。
- 支出内容で特筆すべき点は、ラグビー部全国大会出場祝金と昨年同様に卒業生に卒業記念品を贈呈しました。
- 在校生に対する奨学金支出は、予算どおりの40万円を執行しました。

平成30年度予算書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

(収入の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
同 窓 会 費	2,894,700	3,141,900	△ 247,200
入 会 金	438,000	692,000	△ 254,000
賛 助 会 費	550,000	500,000	50,000
総 会 会 費	160,000	0	160,000
寄 付 金	140,000	105,000	35,000
雑 収 入	43,000	51,000	△ 8,000
当 期 収 入 合 計	4,225,700	4,489,900	△ 264,200
前 年 度 繰 越 金	8,307,693	6,999,610	1,308,083
収 入 合 計	12,533,393	11,489,510	1,043,883

(支出の部)		(単位：円)	
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
総 会 会 費	1,275,000	0	1,275,000
行 事 費	1,200,000	0	1,200,000
通 信 費	60,000	0	60,000
雑 費	15,000	0	15,000
会 議 費	95,000	244,000	△ 149,000
役 員 会 費	50,000	189,000	△ 139,000
委 員 会 費	25,000	35,000	△ 10,000
通 信 費	20,000	20,000	0
補 助 費	380,000	380,000	0
部・同好会補助	350,000	350,000	0
文 化 祭 補 助	30,000	30,000	0
事 務 費	385,000	425,000	△ 40,000
人 件 費	250,000	300,000	△ 50,000
事務消耗品費	10,000	10,000	0
交 際 費	100,000	90,000	10,000
雑 費	25,000	25,000	0
会 報 費	2,013,400	1,867,600	145,800
会報『桐』印刷費	375,000	259,200	115,800
振込用紙及び印刷費	81,000	81,000	0
宛名用紙及び印刷費	129,600	129,600	0
封筒・封入作業費	226,800	226,800	0
発 送 費	1,200,000	1,170,000	30,000
雑 費	1,000	1,000	0
記 念 品	420,000	420,000	0
奨 学 金	400,000	400,000	0
予 備 費	100,000	100,000	0
当 期 支 出 合 計	5,068,400	3,836,600	1,231,800
次 年 度 繰 越 金	7,464,993	7,652,910	△ 187,917
支 出 合 計	12,533,393	11,489,510	1,043,883

〔会計監査報告〕

私たちは、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度における会計監査を行い、次のとおり報告する。

会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて監査を行った結果、公正かつ相違ないことを認めます。

平成30年4月21日

会計監査代行 加藤明宏

平成30年度予算について

平成30年度収支予算は、平成30年度の事業計画と平成29年度の収支実績とを勘案して編成しました。

1. 収入の部

同窓会費は804名、入会金は219名を収納予定人員と積算し、また賛助会費は前年の実績を勘案して延べ550口を収納予定として予算計上しました。

本年度は、総会・懇親会を開催しますので、総会会費及び寄附金収入を、過年度実績に基づき予算計上しました。

2. 支出の部

本年度の事業計画は、①総会・懇親会の開催、②同窓会だより「桐」の発行、③在校生の部・同好会に対する補助、④卒業記念品の贈呈、⑤在校生に対する奨学金支出等が主なものです。

例年と異なる点は、総会・懇親会の開催に伴う行事予算の計上です。

この結果、次年度への繰越金は746万円を予定し、単年度収支では84万円の支出超過予算となりました。

同窓会賛助会費 納入者のご芳名

平成29年度分の賛助会費として、本年3月末までに納入のあった方は、
下記の172名の方々です。ここに、謹んでご報告申し上げます。

★印は新規納入者

ア 青山 正和 ★赤上 政彦 秋本 康夫 浅野 進 安達 富夫 阿部 容大 荒川 晴紀 有我 洋	エ 遠藤 尚之 オ 大河原行雄 太田 雄貴 ★大西 康晴 大野 芳男 ★大橋 直人 大淵 敬介 大場 文夫 大山 翔平 大山 靖郎 岡本 定道 奥野 和夫 奥山 純夫 ★尾崎 雅彦 小澤 幸二 押野 巳佐男 小野寺 正志	ク 久我茂三郎 楠山 信之 栗田幸之助 ★栗山 康弘 桑原 徳郎	ス 須賀 義則 杉本 法男 ★鈴木 一呂 鈴木 茂樹 鈴木 茂之 鈴木 隆司 鈴木 誠 須田 親雄	ナ 内藤 剛 永井 賢一 ★中田 勝利 中村 重和 中本 太郎	フ 藤兼 英夫 藤野 保 藤森 琢磨	ヤ 矢内 敏郎 矢川福太郎 矢口 勝巳 ★矢島 正貴 安田 憲二 ★山口 和男 山下 大介 山本 敦
イ 飯村 晴夫 ★池田 悦博 ★石川 晃一 ★石崎 友輔 石澤 忠邦 石渡 康憲 市川 明夫 稲葉 孝司 稲葉 明成 乾 昭男 猪瀬 誠 ★今井 勇次 岩井 宏樹 岩間 高志	カ 柿ノ迫国夫 柏木 幹也 香取 芳則 金子 泰将 神谷 守 川嶋 雅彦 川瀬 年茂	コ 小泉 通洋 小岩 国雄 河野 大樹 小嶋 靖夫 小宮カズミ	セ★瀬尾 朗 ソ 外山 昇 染谷 孝雄	ニ 新高喜八郎 ★西村 和徳 西村 俊祐	ホ 洞口 芳彦 ★堀江 俊輔 ★堀山 勉 本間 徹也	ヨ 横山 実 吉澤 誠 ★米田 幸介
ウ 氏家 正智 内村 正一 梅木 英雄 梅村 昭一	キ 岸 大將 北根 益巳 木村 義男	サ 齋藤 進 齊藤 泰之 五月女進一 ★酒井 正則 坂上 秀雄 ★坂 正勝 櫻田 泰教 笹川 昌一 佐藤 明朗 佐藤 義隆 狭山 正則	タ 高田 昭治 高野 昌弘 高橋 弘樹 高村 洋一 滝口 勇 滝澤 國夫 武田 敬 田中 賢治 谷川 伸一 欽一	ハ 橋本 友和 橋本 真尚 長谷川恵子 ★濱 尚也 林 一夫 ★原 和義 ★橋本 澄三	ミ 三神 和夫 三澤 宏延 水谷 清 宮城 勇	リ★竜崎 斉
エ 榎本誠四郎		シ 志賀 政美 穴戸 優仁 篠崎 実 ★柴田 徳久 志村 教俊 ★信太 裕介	ツ★塚本 寛人 ト 東郷 東彦 東条諭二郎 富樫 良一	ヒ 土方 国任 平井 洋 平嶋 和元 平野 啓二 廣木 正和 廣瀬 和夫 廣瀬 晋	ム 村石 圭樹 村木 開 村山 栄助	ワ 和久井和之 渡辺 貴大

計172名
(内新規納入者30名)

賛助会費の納入をよろしく
お願いいたします！
賛助会費：一口1,000円

賛助会費は一口1,000円で、口数は任意となっております。
お志のある方は、複数口のご協力をよろしくお願い申し上げます。
また、財政面で安定した本会運営を行っていくために、多数の会員諸兄のご協力をお願い申し上げます。
※納入にあたっては、同封の郵便局用「払込通知票」をご使用のうえ、お振込みください。





輝く笑顔・輝く美しさ！
新総合サプリメント
サポミンEX
SAPOMIN EX
健康・美容・スポーツに[180粒]

だから
今でしょ！
「人生100年時代」

良質なサプリメントは
健康と美容を強力にサポート

●お申し込み・お問い合わせ
TEL 03-5413-8901
土日祝祭日を除く午前10時～午後6時

●FAXによるお申込み(24時間受付)
FAX 03-5413-8896

①〒②住所③お名前(フリガナ)④電話番号⑤個数・合計金額⑥配達時間
●お支払いは着払いのみとさせていただきます。

通常価格 **9,200円↓**
特別価格 **5,000円**
(消費税・送料・手数料込み)

株式会社ノアビューティー
〒150-0001 渋谷区神宮前1-17-5 5階
顧問:市川康憲(昭和42年卒業)

ノアビューティー 会社概要 [検索](#)

原材料名:デキストリン、雪芝エキス、カキガラ末、イチョウ葉エキス、乳酸菌(殺菌、デキストリン)、ヒバツ抽出物(デキストリン、ヒバツエキス)、ヒートオリゴ糖(ヒートオリゴ糖、砂糖)、大豆レシチン抽出物、サケ白子抽出物(DNA含有)、黒酵母発酵液末(オリゴ糖、黒酵母発酵液)/結晶セルロース、ビタミンC、ビタミンE、ステアリン酸Ca、微粒二酸化ケイ素、セラック、HPC、ビタミンD

会 員 紹 介

◆日々、完璧な仕事を目指す◆

いわ さき きょういちろう
岩 崎 恭一郎
(昭和42年 3月卒)

今回は、目黒高校（当時）機械科昭和42年卒の岩崎恭一郎さんにインタビューさせていただきました。中野区新井で50年もの永きにわたって自転車屋(岩崎輪業)を経営。同期の友人の深野博さんにご同席のうえ、ご協力いただきました。

○目黒高校に入学したきっかけは？

工業高校へ行きたいとの思いが有りました。当時、機械科がある高校は少なく、母校と東京工業を受験し両方、受かった。家内工業、旋盤と言ったら当時は目黒が有名で、卒業生は町工場から引き手があつた。東京工業は坊主頭でいやだったこともあつた。

○授業の雰囲気はどうでしたか？

鉄の棒をヤスリ一つで、サンダーも使わずハンマーで作ったり、丸棒から削って寸法をとって打つところの丸と三角で、焼き入れて穴開けて。

その時の授業は、いやでいやでしょうがなかった。帽子をかぶってイチ、ニイとヤスリがけは先生が笛で合図をピッピッだ！

やっぱり、基本は汗を流さなければね。だから経験なんですね。辛かったけれど、良い思い出になりました。母校に機械科が無くなって、すごく寂しい思いがしますね。

○部活は何かされていましたが？

相撲部に2年生の時に入部しました。相撲部が昭和40年に出来たばかりでした。

その時の部員は確か、1年生が2人で全員で7～8人でした。校庭にシートを敷いて、プラスチックの仕切りをはめ込んだ土俵でした。

同じクラスの友で、今の雅山関みたい体をしていた部員がいて、関東大会に行ったが、団体戦はぼろ負け。

しかし、彼はベスト4に入った。

また、一つ上の背の小さい先輩、舞の海関風で技が利いて強かった。本当に相撲が上手かった。

○相撲部に入ったきっかけは？

私は当時、身長175cm、体重は70kg前後で胸囲があつた。梅木先生からラグビー部に「入れ、入れ」と誘われた。「ち

よっとラグビーも面白そうだな」との気持ちはあつたんだけど、朝、昼、晩の練習はついていけないと思い、相撲部に入った。

相撲部も練習はきつかった。まずは、「まわし」を着けるのが初めて。先輩が着けてくれるのだが、当時は素っ裸になるのが恥ずかしかった。身体検査でもパンツを履いているけどね。「まわし」が、まあ、痛いってもんじゃない。その日はいいんだが、股ズレで皮が剥けて真っ赤になった。翌日、ガニ股で登校した。

夏の合宿に顧問の森谷先生のご実家へ。山梨の甲府近辺だったと思う。地元の学校の校庭をお借りして稽古。食事が一番苦労。でっかい釜で最初は先輩が食べた後、「全部たいらげろ」と。いや、なんせ、食べ食べと大変だった。そんなに食えるもんじゃない。

その時の鍛えがあつて、真冬でも素足で、健康で働けていますよ。

○卒業後、いろいろお仕事等、ご苦労があつたのでは？

卒業後、自動車、オートバイ関係の仕事に就職。4、5年勤めようと思ったが、単調な仕事だったので、1年で住み込みを辞めて実家で働くことにしました。

実家は、昭和16年から父親が自転車店を開業していました。私が高校卒業の時、60歳を過ぎていました。いい人でした。しゃべらなかつたね。その代わり、母親がよくしゃべつた。その父も69歳で亡くなった。私は、店を継ぎ（20歳から）今の店を50年、経営しています。

店は、日曜日が休み、スポーツが好きだから、中学校から野球、卒業してから地元で野球部を作って、随分、やりました。



(中野区新井の岩崎輪業)

○地元またお仕事でいろいろ活動をされているご様子ですね？

町会役員は、何十年も前から続けています。自転車組

合の役職、本部の役職、東京都自転車組合理事に就き、何十年にもなりました。

○後輩にメッセージをお願いします。

やっぱり、今の自分の請け負った仕事とか、何だかんだ責任を負うことですね。人のせいにするんじゃなくてね。自分のやったことは責任を負うということでしょうね。自分の仕事に誇りを持てれば、責任を持てるでしょう。それが、この年になれば、一人前になれば、やっぱり後輩に指導出来ることは、自分が完璧な仕事出来る、という自信があるから出来ると思います。自己満足じゃなく人に認められた完璧な職人にです。

共に健康に留意し頑張っていきましょう。



◆母校見学会の開催◆

同窓生の皆様！ 本年も、総会・懇親会の開催前に母校の“見学の集い”を下記のとおり企画いたしました。

大きく様変わりした中目黒駅・恵比寿駅周辺。

友と語り合いながら渡った目黒川。そして、我が栄へゆく目黒学院！10代の青春が蘇ると存じます。

当日は、母校の教職員の皆様が、私たちのために学校内をご案内して下さいます。

また、皆様の思い出、ご活躍もお聞かせいただきながら、総会・懇親会開催前のひととき、有意義な時間がお過ごし出来ればと考えております。

— 記 —

○日 時：平成30年7月28日（土）午後3時30分

○集合場所：目黒学院高等学校 1階事務室前

○その他：学校見学に参加希望される方は、総会・懇親会の出席葉書にて**7月21日までにお申し込み**ください。

見学会所要時間は約1時間。見学会終了後、タクシーで総会・懇親会会場へ移動します。

◆剣道部OB会が発足◆

本年1月28日、目黒学院高等学校内において、剣道部顧問の小池先生、丸山先生、後藤先生ご出席の下、剣道部OBによる総会が開催され、同年1月31日付けで目黒学院剣道部OB会が発足しました。

本会は、現役部員に対する指導・育成・補助を行うとともに、本会を通じて先生方とOB会員との親睦を深め、「卒業しても、一生涯、剣道を楽しむ。」ということを目指としています。

今後は、稽古会、親睦会及び総会の開催、OB会としての試合出場等を企画していく予定です。剣道部のOB又はOGで、本会に加入していただける方がいらっしゃいましたら、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。



【連絡先】

OB会会長

蔵田 和也（平成8年度卒）090-1804-7512

daimon-kaju@ezweb.ne.jp

幹事長

大倉 考裕（平成13年度卒）090-2205-4079

keserasera2525@docomo.ne.jp



◆実録目黒学院史 「校歌物語」◆

School Song Story

校 歌 物 語

目黒学院

一
●作詞：安東英男 ●作曲：水谷昌平

仰げ大空 眉をあげて
胸に湧く血潮の 音きかずや
若き生命よ 燃ゆる希望よ
若人意気高し 目黒学院

二
友よ手をとり いざや行かん
行手なお遙かに 道は険し
されど怯まじ 理想求めて
若人誇りあり 目黒学院

三
雪に気高し 富士の高嶺
花のかげ照りはゆ 清き流れ
四季の光に みどり色濃き
学びの林こそ 目黒学院

校 歌

安東英男 作詞
水谷昌平 作曲

明るく堂々と

1. あお おお ぞ ら ま ゆ を あ げ て む ね
2. トモ ヨ テ オ ト リ イ ザ ヤ ユ カ ン ユ ク
3. ゆ き に け だ か し ふ じ の た か わ は な

に わ く ち し お の お と き か ず や わ か
テ ナ オ ハ ル カ ニ ミ チ ハ ケ ワ シ レ
の か げ て り は ゆ き よ き な が れ し き

き い の ち よ も ゆ る き ば う よ わ こ
ド ヒ ル マ ジ リ ソ ウ モ ト メ テ ワ コ
の ひ か り に み ど り い る こ き ま な

う ど い き た か し め ぐ る が く い ん
ウ ド ホ コ リ ア リ メ グ ロ ガ ク イ ン
び の は や し こ そ め ぐ る が く い ん

学園の理念を白眉な歌詞と旋律に乗せた歌

社会を支える人材の育成を掲げ、前身の「東京機械工科学学校」が中目黒に開校したのは昭和15（1940）年。現在の校歌は2代目で、制定に際し作詞は故安東英男氏に依頼。その歌詞は1番と2番で校訓の「明朗・勤勉・礼節」の理念を高々と謳い上げたものでした。

音楽に造詣の深かった2代目理事長関口敏郎先生は「新しい校歌には、モーツァルトのオペラ『フィガロの結婚』第1幕中のある著名なアリアのような、テンポ感溢れた明るく勇ましい曲がふさわしい」と考え、面識のあった同郷の作曲家水谷昌平氏に曲作りを依頼。

やがて変ホ長調の、明るく堂々としたメロディが完成します。しかし、「水谷氏が最終的に校歌のモデルに選んだのは、ベートーヴェンの英雄交響曲では」と、音楽科教員でもある松本武巳常任理事は解析します。

「校歌の冒頭に、英雄交響曲第1楽章第1主題を展開さ

せた分散和音（シ・ファ・ソ・シ）を持ってきています。これはまさに英雄の主題を基にしたものだと思います。実は一時期、校歌の冒頭の4音を『シ・ミ・ソ・シ』と修正した異版も存在していましたが、変ホ長調の主和音の分散としては正しいのですが、水谷氏は、本校の理念を表し強調すべき白眉な部分である『行手なお遙かに道は険し されど怯まじ 理想を求めて』の“怯まじ”と“求めて”の部分にアクセント（>）をつけるための音としても、わざわざ選んでいるのです。冒頭が変ホ長調の主和音では白眉の部分が生きてきません。2代目理事長先生の新しい校歌への思いや詩などさまざまな要素を汲みとりながら、表面には見えにくい巧みな技法で作られたこの校歌は、非常にレベルの高い作品なのです」

学園の誇るこの校歌は、これからも『学びの林』で謳い継がれていくことでしょう。



常任理事

まつもと たけみ
松本 武 巳

「校歌物語」は、平成24年春に受けた取材により作成され、夏前に雑誌に掲載されたものですが、話し手の使った専門用語が上手く伝わらなかった部分も散見されるので、ここに補足説明を加えたいとおもいます。

むしろ、取材をきっかけに書いたこの文章が、実録目黒学院史の本体であるとお考えください。

本校の校歌とベートーヴェンの英雄交響曲(交響曲第3番作品55)は、いずれも変ホ長調です。英雄の主題(テーマ)を2つに分割したものが、《図1》になります。

《図1》



これを主題(A)と主題の展開型(A')と呼ぶことにします。ところで、本校の校歌の冒頭は、《図2》のように2つの版が存在しています。

《図2》



いずれか一方は誤りであるわけです。普通に考えれば、変ホ長調の和音(シ♭・ミ♭・ソ・シ♭)から考えて、右の楽譜(「あおげ」の「お」の部分がミ♭)の方が正しいと思うでしょう。事実、左の楽譜が元々あった楽譜ですが、平成に入ってしばらくして、右の楽譜が突如登場(出所不明)します。平成14年ごろにスタジオ収録された校歌も、この右の楽譜に依拠しているのです。

さて、《図3》をごらんください。校歌の重要な一節です。「いのち」と「きぼう」の2単語に、強調を意味する指示記号(>)が付けられています。ここで、注目して欲しいのは、「きぼう」の「う」(つまり最後の音)が、「ファ」になっていることです。「ファ」であることが、和声学上正しいためには、冒頭の音型が、一時期否定されたい《図2》の左側の楽譜こそが正しいこ

とにつながるでしょう。

しかし、変ホ長調の和音との整合性はどのように考えれば良いのでしょうか。このことを放置すると、本校の校歌は、理論上の禁則を犯した楽曲になってしまうのです。

《図3》



その答えが、《図1》の英雄の主題とその展開型にあるのです。展開型(A')の矢印を付けた部分を良くご覧ください。ここに本校校歌冒頭の謎解きと、「いのち」と「きぼう」の部分へのこだわり(あえて「ファ」を用いることで、「いのち」と「きぼう」の大切さを謳い上げること)が、はっきりと偉大な先達によって残されているのです。

また、本校の校歌には速度記号が存在していません。「明るく堂々と」とだけ記されています。

そこで、前述の平成14年の校歌収録でも、速いバージョンと、抒情的バージョンが録音されました。

しかし、実はこの「明るく堂々と」とは、英雄交響曲の速度指示(アレグロ・コン・ブリオ)の和訳であろうと思われます。そして、英雄交響曲の速度指示は非常に速いテンポを求めているのです。本校の校歌も、速いテンポで元気に畳み掛けるように歌うのが、作曲者の本意であったと思われます。

私は、校歌冒頭の「明るく堂々と」と、音列の謎解きから、この校歌のベースとして、あの有名な「英雄交響曲」を下敷きに作曲されたのは間違いないだろうと考えます。作曲上の禁則を犯した二流の校歌では決してありません。後世の手直しは、作曲者の崇高な思いを無視した軽率な理解であったと言わざるを得ません。この校歌がもっともっと親しまれることを切に望んでいます。

(母校並びに筆者のご了解のもと、目黒学院高等学校新聞『梧林』第12号から転載させていただきました。)



◆恒例「親子二代卒業生」ご紹介◆

武 田 倫 宣（父）平成 5年3月卒
 怜 美（息女）平成30年3月卒
 稲 垣 正 美（父）昭和58年3月卒
 舞 香（息女）平成30年3月卒
 中 村 智 博（父）昭和63年3月卒
 こころ（息女）平成30年3月卒
 福 井 丹 三（父）平成 2年3月卒
 柊 磨（子息）平成30年3月卒
 伊 藤 威 徳（父）平成元年3月卒
 みのり（息女）平成30年3月卒
 山 崎 隆 正（父）平成元年3月卒
 古都美（息女）平成30年3月卒
 大久保 勝 啓（父）昭和60年3月卒
 翔 平（子息）平成30年3月卒
 倉 田 誠（父）昭和56年3月卒
 拓 海（子息）平成30年3月卒
 黒 沢 浩 之（父）昭和55年3月卒
 光（子息）平成30年3月卒
 鈴 木 順 一（父）昭和60年3月卒
 雄 生（子息）平成30年3月卒

平成30年度
同窓会委員会の開催について

平成30年度同窓会委員会を、下記のとおり開催いたします。

各クラスの委員の方は是非、ご出席ください。

特に、平成28年・29年・30年3月に卒業された、各クラスの正・副委員の皆さんは、年一回開催の委員会ですので欠席のないよう、お願いいたします。

記

- 日 時 平成30年7月14日（土）午後2時～
 ●場 所 目黒学院高等学校内 会議室
 ●議 題 ①役員改選の件
 ②平成30年度同窓会総会・懇親会開催の件
 〈報告事項〉
 ①平成29年度決算報告の件
 ②平成30年度予算の件



電気ドンキープロフィール

総会・懇親会のアトラクションに出演するコント芸人のプロフィールをご紹介します。

- ・コンビ名：電気ドンキー
- ・名 前：寺中湧飛・平川智之
- ・事 務 所：ワタナベエンターテインメント

大学の落語研究会で知り合いコンビ結成。

4年間アマチュアとして100本以上舞台に立ちました。大学卒業後お互い一年間就職し、2016年コンビでワタナベコメディスクール養成所入学（特待生）

一年間養成所に通い、所属試験を通過し2017年ワタナベエンターテインメント所属となり今年4月で芸歴2年目に突入しました。

現在は事務所ライブを中心に月10本程度のライブ活動や、たまにイベントのMC等もさせていただいています。

主にコントをさせていただいています。

今年の目標は大会で勝つことと、地上波でネタ番組出演です。



法律相談無料（夜間・土日休日もご対応）

お電話はこちらへ **044 (211) 4401**

【主な取扱案件】

交通事故被害・後遺症 債権回収・企業法務
 相続手続・遺言書作成 顧問相談 労働問題
 男女問題・離婚 成年後見 刑事事件など

川崎パシフィック法律事務所

代表弁護士 種 村 求（横浜弁護士会所属）

事務局長 大 川 信 也（昭和57年卒）

川崎駅から徒歩1分

ホームページ
メール問合せ

川崎パシフィック 検索
info@kawasakipacific.com